

範教錬士会 2019年度 事業報告

1.特別講習会(範教錬士研修会)報告

令和元年6月2日(日) 会場 小松市武道館弓道場

令和元年6月9日(日) 会場 加賀市武道館弓道場

(内容は2日、9日とも同様)

参加者数 6月2日 21名

6月9日 16名

内 容 (1)2019年度 指導方針について説明・確認

①教本の内容(意味)の再度の確認

射法・射技の基本(p99～p103)

動作の注意点(p62～p64)の読み合わせ、質疑応答

②先般の柴田範士の指導内容の確認

昨年12月県範教錬士会と今年4月北陸3県範教錬士会の指導内容の確認

特に手の内について、矢番え動作について

③「弓返りしない人達への効果的な指導方法」、「早気の解消に向けた指導方法案」

などで意見交換

(2)一手行射(審査の間合い)

番号の後ろから行う。

(3)グループディスカッション

「初心者教室での指導上の苦労話」、「講習会で受講生の人格・人権に

どのように配慮しているか」などで意見交換

(4)相互研修

2.範教錬士講習会 報告

令和元年12月14日(土)15日(日) 会場 小松市武道館弓道場

講師: 範士九段 柴田 猛 先生 (茨城県)

参加者数 12月14日(土)30名

12月15日(日)37名

講習内容 ・一手行射

・射技指導

・講師模範演武、模範射

・持的射礼、一つの射礼(各一組)

・手の内の作り方

・大三から弓手:妻手=1:1, 5ぐらいで動く

・大三で弓手肩出さない。弓手つっぱらない。

・妻手止めないで最後まで引く。エレベーターにならないように。

そのために、大三で止めないで弓手から引く練習をする。 (小笠原流)

・会で胸筋と背筋を左右に開く。

範教錬士会 2020年度 事業計画

令和2年12月12日(土)13日(日) 会場 小松市武道館弓道場

講師: 範士九段 柴田 猛 先生 (茨城県)